

いよいよ着工 白根北中学校

開校は平成4年4月

■総工事費は
14億3、942万円

白根北中学校新築工事の安全祈願祭が、十月十八日に市長をはじめとする市関係者や請負業者らが出席して行われました。

九月二十八日に建設請負業者を選定する入札が行われ、十月五日に開催された市議会臨時会で建設請負契約が可決されました。

この結果総工事費は十四億三千九百四十二万円になり、市ではこれを国の補助金三億四千九百九十六万円、地方債四億九千八百七十七万円、一般財源五億九千八百七十六万円で購入することとし、3カ年の継続事業で取り組むことにしています。

■情報処理室では
パソコン学習も

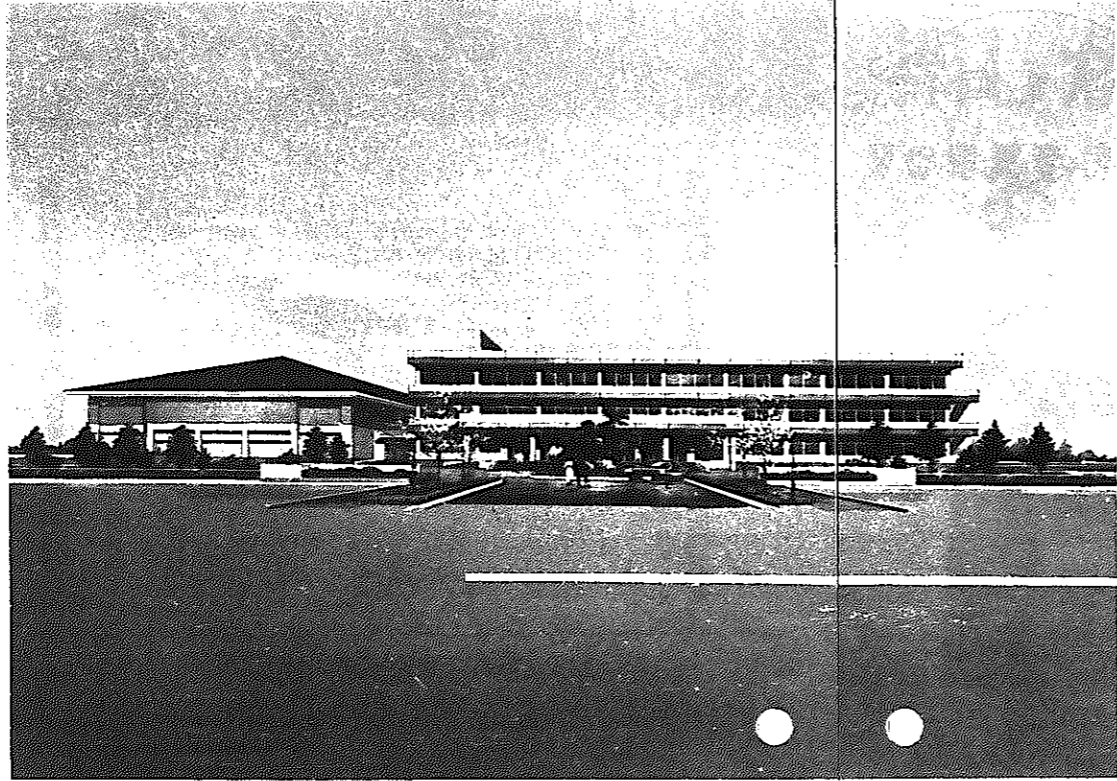
校舎は鉄筋コンクリート造り

■北部地区の
遠距離通学を解消

三階建て、延面積は四千四百四十五平方メートル。十二の普通教室と十三の特別教室を設けることになっています。特別教室の中には、パソコン二十二台が設置可能な情報処理室などがあります。このほか、さまざまな用途に使用できる多目的教室なども計画されています。

また体育館は延面積一千七百八十平方メートル、鉄骨・鉄筋コンクリート造り二階建てで、二階には柔剣道場が設けられる予定です。このほか二十五メートルプールも計画されています。

工事は、校舎が平成二年と三年にかけて行われ、体育館とプールは平成四年度には完成する見通しです。



▲白根北中学校完成予想図

チビッ子白バイ隊登場

交通安全都市宣言を記念し交通安全パレードを実施

秋の交通安全運動初日の9月21日、県の交通対策と県警の関係者、市職員、市民、保育園児など約150人が参加して、交通安全パレードと街頭指導を行いました。本市が初日のメイン行事の会場となったのは、市制施行30周年を記念して5月に交通安全都市宣言を行ったことなどから。

市役所駐車場で行われた街頭指導所の開所式では、白根保育園の4人の園児をチビッ子白バイ隊員に任命。式の後、チビッ子白バイ隊員は、さっそく大型オートバイに乗り込み、街頭指導所を設置した国道8号白根小前までパレード。パレードには、県警音楽隊や原付自転車隊も参加し、にぎやかに行われました。

街頭指導では、保育園児が「シートベルトを付けてください」などと書かれてある手紙を道行くドライバー一人ひとりに手渡し、また、本市特産の完熟トマトもプレゼント。ドライバーは、園児らの交通安全の呼び掛けに、にこにこ顔でこたえていました。



北中学校へは現在白根第一中学校に通う大通小学校、根岸小学校の学区と大鷲中学校の学区の生徒が通うことになりました。大通小学校と根岸小学校の卒業生はともに第一中学校への遠距離通学を余儀なくされていましたが、北中学校の建設でこの問題は解消されることになりました。また今の第一中学校が抱えている大規模校問題も、北中学校へ根岸、大通の学区の生徒二百八十八人（平成四年度見込

み）が通うことで解消されます。これにより第一中学校では、よりきめの細かい教育ができるものと期待しています。

■大鷲中学校は廃校へ

大鷲中学校は昭和二十五年の建築で老朽化が著しく、地元からは早期改築が強く望まれていました。北中学校の建設によって廃校となり取り壊すことが決まっています。跡地の利用については、今後地区の意見を聞きながら検討していくことになっています。

このようにさまざまな問題の解消を目的に建設される北中学校には、各方面から大きな期待が寄せられています。

市政短信

白根バイパス、市道一之町下江線が開通

主要地方道新津白根線（白根バイパス）と市道一之町下江線の一部区間の開通式が十月十一日現地で行われました。白根バイパスの開通区間は、みの口交差点から一之町下江線までで、昭和五十一年度から事業を着手。延長は六百三十三・五メートル、事業費は五億二千五百四十万円。一之町下江線は、カルチャーセンターから白根バイパスの開通区間の終点までで、延長は二百六十八メートル、事業費は一億五千四百五十万円となっています。



両線の一部開通により、カルチャーセンターへの交通が、ますます便利になります。

県園芸振興議員連盟が西洋ナシを視察



県議員で構成している県園芸振興議員連盟の一行七人が、十月十一日西洋ナシ（ルレクチェ）の視察のため、本市を訪れました。視察地は、大郷の水田転作西洋ナシ、茨曾根のわい化栽培西洋ナシの園地など四カ所。

視察後、大郷地域生活センターで行われた懇談会には、生産者や農協関係者も出席。西洋ナシの共済制度設立や産地の実状について真剣な話し合いが行われました。

大迫力に満足、立体ビデオ試写会

立体ビデオ第一作「白根の大風合戦」の試写会がNHKのど自慢の開催に合わせ、十月十三、十四日にカルチャーセンターで行われました。この試写会に訪れた市民は、二日間約一千人。

最新鋭の映像機器を使って撮影されたこのビデオ、さすがうわさどおりの出来栄。竹割りのシーンでは、百インチのスクリーンから竹が飛び出し、思わず頭を下げる人も。「(仮称)白根ふるさと館」での上映が今から楽しみです。



デイ・サービスセンター建設に着手

市では、十月一日デイ・サービスセンターの建設に着手しました。デイ・サービスセンターは、老人福祉センターに併設。在宅の寝たきり老人や虚弱老人を対象に、入浴やリハビリ、介護教室などのサービスを行います。

建物は、鉄筋コンクリート平屋建てで、延べ面積は百九十一・五平方メートル、総工事費は五千五百六十七万円。特殊浴槽や静養室、食堂などが設備されます。

